

2010年9月16日

日立化成工業株式会社/日立粉末冶金株式会社

## インドネシアに粉末冶金製品の生産拠点を新設

—2015年度、四輪及び二輪車用でシェア40%以上を目指す—

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：田中一行、資本金：155億円)の全額出資子会社である日立粉末冶金株式会社(本社：千葉、取締役社長：角田和好、資本金：44億円、以下、日立粉末)は、インドネシアにおける粉末冶金製品の更なる事業拡大を図るため、首都ジャカルタ近郊のスルヤチプタ工業団地内に約13億円を投資して「(仮称)PT. Hitachi Powdered Metals Indonesia(以下、HPMI)」を設立し、2012年4月に製造を開始することを決定しました。

インドネシアでは、四輪及び二輪車市場の急激な伸びが予想されており、今後5年間で約2倍に拡大する見込みです。現在、日立粉末は、同国向けにタイ(Thai Sintered Products Co., Ltd.、以下TSP)及びシンガポール(Hitachi Powdered Metals(Singapore)Pte. Ltd.、以下、HPMS)のグループ会社より粉末冶金製品を供給していますが、現地には粉末冶金メーカーが無く、粉末冶金製品は全て輸入に頼っている状況です。そのため、物流の簡素化による早期納入体制の確立、並びにお客様の製品に対する要望への迅速な対応を図るため、現地生産化を望む声が多く寄せられていました。

そこで日立粉末は、この度、インドネシア西ジャワ州カラワン県のスルヤチプタ工業団地に、HPMIを設立することを決定しました。2010年11月をめどに会社を設立、工場建設に着手し、2012年4月の製造開始を目指します。そして四輪及び二輪車市場の急激な伸びに合わせ拡大する粉末冶金製品の需要を取り込み、2015年度には、インドネシアでの四輪及び二輪車用粉末冶金製品のシェア40%以上を目指します。

日立粉末は、粉末冶金製品の材料技術力、工法開発力の強みを生かし、バルブガイド、スプロケット等のエンジン部品や軸受、補機部品を中心に四輪、二輪車のお客様の世界展開に対応して、北米、中国、タイ、シンガポールに製造拠点を構築してきました。今回のHPMIの設立を機に、従来インドネシアに製品を供給していたTSPでは、インド、タイ等の需要拡大に対応、HPMSでは、小型精密部品の需要拡大に対応するために経営資源を集中し、アセアン地区での売上拡大を目指します。

### 【会社概要】

社名：(仮称)PT. Hitachi Powdered Metals Indonesia  
所在地：インドネシア西ジャワ州カラワン県 スルヤチプタ工業団地  
資本金：1,250MY  
設立：2010年11月(予定)  
出資者：日立粉末冶金株式会社 100%  
従業員：約100名(2012年立ち上げ時)  
事業内容：粉末冶金製品の製造及び販売  
量産開始：2012年4月(予定)

以上

(報道関係お問い合わせ) 日立化成工業株式会社 広報担当 長谷川、施政(しせい) TEL 03-5381-2371  
日立粉末冶金株式会社 広報担当 西川 TEL 047-362-1171